

7月1日 日曜日 13時30分-15時30分

『学会員の倫理に関する意識』 —質問紙調査報告と意識啓発のためのワークショップ—

報告者とファシリテータ :

井上孝代 (明治学院大学)

村本邦子 (立命館大学)

若林佳史 (大妻女子大学)

加賀美常美代 (お茶の水女子大学)

コメンテーター : 高島克子 (東京女子大学)

企画・進行 : 加賀美常美代 (お茶の水女子大学)

企画趣旨

コミュニティ心理学に立脚する活動が大きな影響力をもつことが認識されるようになるにつれて、同活動に対して大きな期待が寄せられるようになりました。しかし、コミュニティ心理学において、「どのような問題が生じているのか」、「研究者・実践者としてどのような態度が求められ、どのような配慮が必要なのか」ということもよく把握されていないのが現状です。こうした現状を踏まえ、日本コミュニティ心理学会の倫理委員会では、学会員の皆様に、倫理的な問題に直面した経験の有無や経験した問題の内容について質問紙調査を行うことから活動を始めていくことが重要だと認識し、2007年1月から2月にかけて自由記述を中心とした質問紙調査をいたしました。

本企画では、その質問紙調査の結果を簡単に報告すると共に、さまざまな領域で共通して問題となりそうな倫理的な問題をいくつか取り上げ、参加者と共にグループワークを行いながら、どのような問題をどのように解決していったらよいか、考えていく参加型のワークショップを実施したいと思います。

このワークショップから参加者自らが日頃、どうしたらよいか分からない事例をすべての参加者とともに考え、共有できたら幸いです。多くの皆様の参加をお待ちしております。

(加賀美常美代)